

平成30年
第3回町議会定例会

行政報告

(平成30年9月25日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、先の行政報告において被害の概要について報告させていただいた台風21号と平成30年北海道胆振東部地震に伴う被害状況等について、その後判明いたしました被害及び現時点における被害額について、ご報告をさせていただきます。

(台風21号による被害状況について)

はじめに、台風21号による被害状況についてであります。農業被害については新たな被害はありませんでしたが、牛舎及び格納庫でそれぞれ1棟、ビニールハウスで2棟が強風により損壊し、全体で4棟、金額にして179万2千円の被害となりました。

次に、公共施設の被害状況について、新たに集団研修施設こまはた敷地内の倒木が判明しました。

公共施設の被害額といたしましては、町道糠内古舞線外34路線45箇所の倒木除去に107万1千円、その他公共施設の倒木除去に126万9千円、また、パークゴルフ場の掲示板及び公園の園名板の一部破損や、幕別小学校の防風ネットの倒壊、まなびや中里の体育館外壁の破損などで104万9千円、合せて338万9千円の被害額となり、農業被害を含めた台風21号による被害の総額は、518万1千円となったところであります。

(平成30年北海道胆振東部地震の影響に伴う被害状況等について)

次に、平成30年北海道胆振東部地震の影響に伴う被害状況等についてであります。

9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震では、強い揺れの影響で斜面崩壊や家屋の倒壊が発生し、厚真町などで多くの尊い命が奪われたほか、震源地に近い苫東厚真火力発電所が地震直後から発電が停止となったことなどから、道内全域において大規模な停電が発生し、その後も電力が不足する状態が続き、再びの停電を回避するため、電力事業者から節電を要請されるなど、本町にも大きな影響を及ぼしたと

ころであります。

このため、本町では、9月10日からホームページや防災メール、公区内回覧で節電を呼びかけるとともに、公共施設の減灯や空調の停止、街路灯や公園内の照明の間引きなど節電に努めてきたところであります。

次に、この停電による現時点で取りまとめました被害の状況について、申し上げます。

はじめに、農業被害であります。町内の生乳出荷酪農家15戸において、搾乳の受入先となる乳業工場の操業が停止したため、生乳32トンが廃棄となり、被害額ではおよそ320万円に及ぶとの報告を受けているところではありますが、今後においても乳房炎やストレスの発生等による生乳の減産などの影響が懸念されるところであります。

次に、商工業における被害状況についてであります。

停電の影響に伴い、宿泊施設の利用予約のキャンセルなどの被害が生じており、宿泊業においてはキャンセル数2,719人で、被害額は2,194万3千円、さらに町内2箇所のゴルフ場でのキャンセル数が669人で、被害額は504万円、その他商工業では電源喪失に伴う食材の廃棄や受注製品のキャンセルなど1,056万3千円の被害となり、合わせて3,754万6千円の被害額となりました。

次に、公共施設における被害状況等についてであります。公共下水道札内中継ポンプ場の自家発電機の停止につきましては、停電が誘因となり直流電源盤のブレーカーが故障したことが判明し、この部品交換に要する30万円のほか、発電機の借上や臨時点検に、合わせて338万2千円を要しました。

また、簡易水道施設では、非常用発電機の燃料代や臨時点検などに、合計で115万5千円、学校施設においては、停電復旧後の防犯カメラの不具合や職員用パソコンのサーバの故障で89万2千円、保健福祉センターにおいては、デイサービスの給湯循環ポンプなどの修繕で52万7千円の費用を要しております。

この他、町内の医療機関に保管しております、各種予防接種のワクチン123人分

が停電により保冷ができず、63万8千円分が廃棄処分となったほか、町内57公園の照明灯、266灯のタイマー設定の復旧作業に20万円、南勢牧場の給水ポンプ及び依田公園浄化槽の発電機借上に要した費用が17万6千円、その他、幕別ダムにおける緊急時操作点検や発電機の燃料費などを含め、停電に伴う公共施設における応急処置と復旧等に要する費用の合計は、753万5千円となっております。

これら農業、商工業の被害額と公共施設における費用を被害額といたしますと、地震に伴う停電による被害額全体では4,828万1千円となったところであります。

この度の台風による強風被害や停電に伴う公共施設に関する復旧作業につきましては、既定予算の中で早急に対応を進めているところでありますが、今後、既定予算に不足が見込まれる経費につきましては、今回、補正予算として提案をさせていただいております。

次に、平成30年北海道胆振東部地震に伴う支援についてであります。9月15日から5日間、被災した厚真町へ4名の職員を派遣し、罹災証明の発行や物資の受付、被災者からの問い合わせ対応など被災地の復興支援を行ってきたところであります。

また、日本赤十字社北海道支部幕別町分区では、9月12日から平成30年北海道胆振東部地震災害義援金箱を本庁舎、支所等各窓口に設置したところであり、今後においても北海道や関係市町村と連携し、必要な復興支援を行ってまいりたいと考えております。

以上、台風に伴う強風被害と停電による町内の主な被害についてのご報告とさせていただきます。